



特定非営利活動法人あしふえ

第17期

# 事業報告書

2021年(令和3)4月1日～2022年(令和4)3月31日



一般社団法人非営利組織評価センター「第三者組織評価」の「ベーシック評価」を受けました。

認定特定非営利活動法人あしふえ



## コロナ禍の中で <できる事は何か>を考えて、活動しました！

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大により苦しい運営が続きました。初めて企画した「出演者全国公募事業 ブラボー！ファーブル先生」公演も東京、福岡や近県からの俳優を迎えて楽しい稽古が進んでいましたが、結局中途で断念せざるを得ない状況となりました。

こうした中で、小学生対象の「シアター未来学校」だけは、何としても実現させたい、と感染対策に心を碎いて開催しました。これによって、子どもたちも保護者の皆さんも劇場スタッフも、「夢のような3日間だった」と思うほどの素晴らしい成果をあげました。

この事業の成功に後押しされて、秋には「焚き火とゴーシュ音楽の夕べ」と「落ち葉集め」を行い、いずれも来場された方に大変喜んでいただきました。

スタッフが何年にもわたってシアターの森を整備しました。  
人の手が入った自然は、とても美しく  
お出でくださったどなたにも日々の辛さを忘れて  
喜んでいただくことができました。

本年度も厳しい状況に負けないで  
皆さまに喜んでいただけるように更に努力して参ります。  
何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2022（令和4）年5月15日

認定NPO法人あしぶえ  
理事長 園山土筆

令和3年度

# あしぶえ ニュース

コロナ禍にあってシアターの自然に親しむ企画を実施！！

## ■焚き火の楽しさとゴーシュ音楽の夕べ

2021.11.13（土）300名参加



ゴーシュ役の松浦優海によるチェロ演奏



焚き火の炎で癒される親子

演奏に聴き入る観客

## ■落ち葉集めと焼き芋

2021.11.21（日） 61名参加



急な斜面も何のその、子どもたちは駆け上がる



コンテナに落ち葉を詰め込む



落ち葉のベッドに  
埋もれてあそぶ



作業のあとは、焼き芋で交流



## <令和3度事業報告>

## 法 人 運 営

項目	「第16回通常社員総会」の開催
日時・場所	2021（令和3）年5月16日（日）出席者：10名、委任状 39名 会場：しいの実シアター
内容	2020（令和2）年度の事業報告、決算報告、会費報告 2021（令和3）年度の事業計画、収支予算、役員改選の報告

項目	「理事会」の開催
日時・場所	第112回から第115回まで、4回開催しました しいの実シアター
内容	2020（令和2）年度の事業報告、決算報告、会費報告についての承認 2021（令和3）年度の事業計画、収支予算の承認 役員改選について承認 半期決算状況 決算状況と予算案の提案

### 他団体の事務局運営

- ① 八雲町地域振興活動団体交流会（略称：やくもネット）の事務局とポータルサイトの運営
- ②島根演劇ネットの事務局運営

### クラウドファンディングの実施

コロナ禍で公演ができないため、シアターの景観を活かして、灯りを使った癒しの景観づくりを計画し、  
2月4日から3月21日の間クラウドファンディングサイトを活用したキャンペーンを行いました。  
これにより、目標額20万円を大幅に上回る55万8741円が集まりました。  
令和4年度の秋までには、灯りを設置することになっています。

### 職員研修・PR活動・視察受入

研修活動：NGO/NPOの組織基盤強化を考える4日間

NPOマネジメント研修 知って役立つ！理事会と監査のキホン

食品衛生責任者養成講座

令和3年度 第2回助成制度オンライン合同説明会

飯南町レストランおもてなし研修

教育活動：八雲中学1年地域に学ぶ

司会業務：アニメ「セロ弾きのゴーシュ」上映会の司会

PR活動：奥出雲町かかわりしろ1日ツアーハンズオン

樹木整備：シアター樹木整備検討会

会議：篠本照明と業務打合せ

第11期松江NPOネットワーク総会

## <令和3度事業報告>法人事業 ① 招へい公演事業

事業名	地域連携演劇公演 「セロ弾きのゴーシュ」米子公演	中止	
目標数	新型コロナ感染予防のため入場者を250人に制限		
実績数	<b>新型コロナ感染拡大により、淀江文化センターよりキャンセルの通知があった</b>		
趣旨目的	米子市のさなめホールから度々上演依頼がきており、初めて「セロ弾きのゴーシュ」を上演することになり、鳥取周辺の観客に、しいの実シアターの活動を伝え、シアターの認知度を高め、「松江・森の演劇祭」へ誘客する好機会とする。		
事業概要	<p>【演目】 セロ弾きのゴーシュ（上演時間60分）</p> <p>【原作】 宮沢賢治</p> <p>【演出】 園山土筆</p> <p>【実施会場】 米子市淀江文化センター「さなめホール」（500席）</p> <p>【実施日程】 令和3年12月26日（日）</p> <p>【実施回数】 1回</p>		

事業名	地域連携演劇公演 「セロ弾きのゴーシュ」宇部公演	
目標数	コロナのため、入場者を250人に制限	
実績数	<b>令和4年3月6日(日)に変更して実施 コロナの影響で70人</b>	
趣旨目的	山口県宇部市の市制100周年にあたって、あしふえへの上演依頼があった。山口県の観客にも、しいの実シアターの存在を伝え、シアターの認知度を高め、支援者やファンの輪を広げ、「松江・森の演劇祭」へ誘客する好機会。	
事業概要	<p>【演目】 セロ弾きのゴーシュ</p> <p>【実施会場】 山口県宇部市 宇部市民会館（500席）</p> <p>【実施日程】 令和3年8月29日（日）</p>	
事業成果	コロナの影響で観客はわずか70人であったが、あしふえにとって通算200回記念公演でもあり、大変クオリティの高い舞台となった。観客からは、また宇部公演を企画してほしい旨の要望が多数あった。	

## <令和3年度事業報告>

### 法人事業 ②表現・コミュニケーション能力育成事業

コロナの世界的な流行も2年目に入り、学校では、対面授業が大幅に減り、新入生の不安は小中大学とともに大きい状況。地域との連携事業も軒並み中止となり、人との関係性が薄くなっていくことを懸念する大人は多い。

子育て支援施設・小学校・中学校・大学対象	30回	970名
企業・地域・その他 対象	4回	100名
合計実施回数	34回	延べ1,070名

子育て支援施設・小学校・中学校	実施月日	実施場所	受講数	回数
第1回ファミリーサークル「表現あそび」	R3/5/15	八雲町 どんぐり館	15名	1回
星キラMama事業(在宅母子育成事業)	R3/5/19 R3/10/6	八雲町 どんぐり館	のべ21名	2回
松江市立八雲小学校(次世代育成事業)	R3/6/4・22 R3/7/8.中止(雨) 9/7・17・29 11/18, 12/3.7	八雲小学校	のべ445名	13回
松江市立八雲小学校(県民会館事業)	R4/1/13	八雲小学校	のべ67名	3回
松江市立八雲中学校(県民会館事業)	R3/9/10	八雲中学校 2年部	64名	1回
八雲中・東出雲中地域リーダー合同研修会 コミュニケーション・ワーク	R4/1/16	八雲町公民館	0名	中止
松江市立義務教育学校八束学園 (次世代育成事業)	R3/6/14	松江市立義務教育 学校八束学園	のべ55名	2回
松江市立義務教育学校八束学園 (島根県民会館事業)	R3/11/24	松江市立義務教育 学校八束学園	のべ87名	3回
松江市立来待小学校 5.6年 (島根県民会館事業)	R3/10/8	松江市立来待5.6年	44名	1回
飯南町立頓原中学校(次世代育成事業)	R3/6/24	飯南町頓原中学校	55名	1回
飯南町立頓原中学校(県民会館事業)	R3/9/24	飯南町頓原中学校	49名	1回
鹿足郡吉賀町藏木小学校 (次世代育成事業)	R3/11/2	吉賀町立藏木小学校	26名	1回
<b>&lt;成果&gt;</b> ルールを守ることで、クラスの仲間と楽しく遊べる体験や日頃交流のない仲間のいいところを みつけることができ、クラス全体で達成感を味わうことができた。 失敗をおそれず、それをクラスのみんなで楽しむことができた。				

## 大学・企業・地域・保育士研修

島根県立大学 保育教育学科2学年	R3/4/22	島根県立大学(松江)	42名	1回
<成果> 通常、1学年を対象として実施していたが、2学年は、入学時からコロナの対策が厳しくなりリモート授業ばかりだった。そのため、学生間での交流ができなかつたので、初めて2学年を対象として行った。顔と顔を合わせて対面でゲームを体験することで、人と人との距離が縮まるこことをとても喜んで、大変盛り上がった授業となつた。				

島根県看護協会 助産師初任者研修	R3/9/25	島根県看護協会	18名	1回
<成果> 12年まえから依頼されて行っている。間違うことを恐れる新任助産師。失敗から学ぶ有用性と先輩に相談する大切さも伝えることができた。また、ゲームを通して、先を見通すこと、あらかじめの準備を自ら自覚して行うことなども体験することができた。				

熊野大社 奉賽婦人会	R3/6/20	ゆうあい熊野館	28名	1回
<成果> 高齢者の運動機能も見極めてゲームを実施した。 最初は硬い表情であった参加者が、すぐに笑顔になり、全員で楽しむことができ、喜ばれた。				

令和3年度保育士キャリアアップ研修 新任保育士向け保育実践	R3/8/23	パルメイト出雲	39名	1回
令和3年度保育士キャリアアップ研修 新任保育士向け保育実践	R3/8/30	いわみーる	15名	1回
<成果> 3年前から国の保育士研修計画が変わり、「保育士スキルアップ研修」となつた。あしふえはその初級編の初日最初の講座を引き受けている。参加者の親しみがわき以後の研修効果が上がる。間違いを恐れる若い保育士に失敗の有用性や先輩に相談する勇気、互いに力を合わせるゲームなどを体験した。 毎年、受講者には好評で来年度の依頼も受けた。				

## <令和3年度事業報告> 法人事業 ③ 物販事業

### しいの実シアターでの物販事業

あしぶえせんべいのラベルをリニューアルしました。マルシェへの出店のほか、公式LINEアカウントより入荷情報を発信し、県外からの注文などにより、189人に物品販売することができました。

しいの実カフェでは、島根県コロナ対策認証店としてコロナ対策を実施しながら、ロビーで水曜日と金曜日に予約制での営業を開始しました。10月・11月・3月で40人の利用があり、晩秋の景観を楽しんでいただくことができ、次は公演に来たいとの声も聞かれました。

### かやぶき交流館での物販事業

交流館に来場される方を対象に物販を行ない、74の方にグッズや地域産品等の販売を行ないました。今年度から、地元八雲の養蜂家皆川さんの八雲蜜の取り扱いをはじめました。



事業名	<b>森の劇場でお花見を！</b>
来場者数	目標 100人 → 実績 211人
趣旨 目的	桜の魅力を市民に周知し、しいの実シアターの認知度アップを目指す。新設した休憩室棟も活用する。
事業概要	<p>【実施日時】 令和年3月31日（水）～4／4日（日） 9：00～17：00            土・日のミニマルシェ開催は 10：00～15：00</p> <p>【対象者】 家族連れ、高齢者等の市民と近隣市町の住民</p> <p>【内容】 3月31日（水）～4月2日（金）お茶サービス            4月3日（土）～4日（日）マルシェ開催</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観劇に来たことが無い来場者が多く見られた上に、稽古見学する人もあり、お花見をキッカケにしてシアターの活動に興味を持ってもらうことができた。</li> <li>・4月4日（日）は、終日雨天でも親子連れ等の来場者が60名ほどあった。</li> </ul>

事業名	<b>焚火の楽しさとゴーシュ音楽のタベ</b>
来場者数	目標 50人程度 → 実績 約300人
趣旨 目的	当初の事業計画には無かったが、コロナ禍で次々と事業を中止せざるを得なくなり、この状況を乗り越えるため、屋外事業であれば市民も参加しやすいのでは、と考えて、新規事業として行った。
事業概要	<p>【実施日時】 令和3年11月13日（土） 15時～18時 （1回）</p> <p>【実施会場】 しいの実シアター 上の駐車場とグリーン広場</p> <p>【対象者】 一般、親子連れ、高齢者など</p> <p>【内容】 焚火台7台設置            「セロ弾きのゴーシュ」のチェロ演奏</p> <p>【出演】 松浦優海（専属俳優）</p> <p>【スタッフ】 演出：園山土筆            音響：藤原裕志、舞台設置・照明：長見好高            写真：村川莊兵衛、ボランティア1名            焚火：ラスティック・クラフト 他4名</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての事業であったため来場予測が立たなかつたが、子ども連れや高齢者も多く、和歌山、大山、出雲からの来場者もあり、駐車場担当は休憩も取れなかつた。</li> <li>・駐車場不足で、劇団員宅や劇場裏の空き地など全て使用した。</li> <li>・焚き火の魅力を知っている中年・高齢者と、魅力を知らない若者・子どもたちであったが、いずれも「燃える火がもたらす温かな魅力」によって、いつまでも焚き火の周りから動かない人たちがほとんどだつた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の夕暮れがせまり、樹々にセットした数ワットのライトの列の美しさと夕日の美しさ、のぼった月をバックにゴーシュのチェロ演奏があり、「ここはいいところだ」と充分認識してもらえたようだ。</li> <li>・準備していた120枚の来場者アンケート用紙が不足したが、観客対応で追加準備する手間も無かった。</li> </ul> <p>アンケート結果：回収率 69.2% とても満足 83.1%（69名）、良かった 13.2%（11名）、少し残念 3.6%（3名）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外事業だったが、全員がマスク着用で感染対策に協力してもらえた。</li> </ul>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	<p>くしいの実シアターエコ活動） 落ち葉を集めよう！</p> <p>— 腐葉土にする落ち葉集め みんなで焼いも —</p>
入場者数	昨年度実績 20人 ➡ 実績 61人
趣旨目的	コロナ禍が少し落ち着いてきたので、野外に出たいと思っている子どもたちを誘って家族連れで働く体験を味わってもらう。落ち葉を集めるという労働から道具の使い方を知り、様々な工夫をすることで作業が楽しくなる。また、他の家族と協力することでマナーや言葉かけを覚える。そして、きれいになった劇場周りの美しさと働く充実感、役に立つ喜びを味わい、森の劇場への愛着を感じてもらうことによって劇場に対する好感度と認知度をあげていく。
事業概要	<p>【実施日時】 令和3年11月21日（日） 13時30分～16時</p> <p>【実施会場】 くしいの実シアター</p> <p>【対象者】 家族連れ</p> <p>【内容】 道具の使い方と作業手順を説明し、敷地全体と法面、遊歩道、市道の落ち葉をコンテナに集めて松浦造園に「腐葉土」にしてもらい、シアターの樹々の堆肥に活用する。</p>
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業では、過去最多の参加者だった。このうち約40人は夏休みに実施した「くしいの実シアター未来学校」に満足した子どもと家族だった。加えて、未来学校の事業に好感度を高めた保護者が、友人・知人の家族を誘ったようだ。</li> <li>・午後1時から参加者が続々と集まり、落ち葉集めを楽しみに来た様子が覗えた。</li> <li>・作業終了後、       <ul style="list-style-type: none"> <li>「未来学校は本当に良かった」</li> <li>「シアターはロケーションが素晴らしい」</li> <li>「モミジの紅葉が美しい」</li> <li>「シアターの事業はとても良い」</li> <li>「ここは、とてもいい取組をされる」などの感想があった。</li> </ul> </li> </ul>

<令和3年度事業報告> ④しいの実シアターの管理・運営事業

**公演事業1**

事業名	「セロ弾きのゴーシュ」学校公演	中止	
入場者数	目標 240人 ➡ 0人		
趣旨	今年度は、配役を変更して作品のクオリティをより高めて上演する。		
事業概要	【実施日程】 令和4年1月17日（月） 【実施回数】 3回 【対象】 八雲小学校、八雲中学校、来待小学校の児童・生徒		
事業結果	新型コロナ感染拡大により1月17日を3月7日に延期したが、感染収束には至らず、結局、中止せざるを得ない状況となった。		

**公演事業2**

事業名	「プラボー!!ファーブル先生」公演	中止	
入場者数	目標 800人 ➡ 0人		
趣旨	若手演出家・小林七緒氏を招へいし、俳優を全国公募して上演する。		
事業概要	【実施日程】 令和3年10月17日、31日、11月14日、28日（いずれも日曜日） 【実施回数】 8回 【対象】 小学生から高齢者まで		
事業結果	コロナ禍により、上演日を延期するなどの対策を行ったが、結局、中止せざるを得ない状況となった。演出、衣装スタッフにはキャンセル料を支払った。		

**公演事業3**

事業名	幼稚園・保育園・幼保園連携公演	中止	
入場者数	目標 200人 ➡ 0人		
趣旨	子どもたちの感性を育てるだけでなく、同席する高齢者の元気の素にもなっている。		
事業概要	【実施日程】 令和3年6月17日～18日 【実施回数】 2回（各2作品） 【出演】 人形劇団むすび座（名古屋市）		
事業結果	6月17日～18日の開催を、新型コロナ感染により8月に延期したが、中止せざるを得ない状況となり、劇団へキャンセル料を支払って中止とした。		

## 人材養成事業 1

事業名	俳優養成のための短期創造講座	中止	
入場者数	目標　述べ 100 人 → 0 人		
趣　旨	20 分の身体訓練メニューを講師から学び、着実に内容を身につけることができる。		
事業概要	【実施日程】 令和 3 年 6 月～令和 4 年 3 月 【実施回数】 2 回 【講　　師】 新国立演劇研修所修了生 2 名		
事業結果	新型コロナ感染拡大により中止とし、講師にキャンセル料を支払った。		

## 人材養成事業 2 11

事業名	高校演劇部支援事業	一部中止	
参加者数	目標　延べ 90 人 → 7 人		
趣　旨	島根県高文連演劇専門部松江地区 7 校の演劇部生徒を対象に、専門人材を講師として合同公演を行う。		
事業成果	<p>【実施日程】 令和 4 年 3 月 17 日(木)9:30～12:00</p> <p>【講　　師】 園山土筆、有田美由樹 木村文香(松江市出身、東京在住、俳優)</p> <p>【対象者】 松江北高校、情報科学高校 7 名</p> <p>予定を変更。Zoom による「演劇交流」とし、顧問の先生も驚くほど生徒から多くの質問が寄せられ、実のある会となった。</p>		

## 人材養成事業 3

事業名	大学との連携 インターンシップの受入れ	
参加者数	2 名 → 1 名 + 4 名	
趣　旨	<p>①学生が芸術に関心をもち、劇場関係者や演劇鑑賞者として育っていく。</p> <p>②舞台芸術の実情を知り、どのように社会の役に立っているかを認識する。</p> <p>③劇場業務の楽しき、必要性を理解する。</p> <p>④「しいの実シアター」の存在とその価値を知る。</p>	
事業概要	<p>【実施日程】 令和 4 年 2 月 28 日 (月)、3 月 2 日 (水)～4 日 (金) 3 月 24 日 (木) 合計 5 日</p> <p>【実施回数】 1 人 島根県立大学 3 年</p> <p>【講　　師】 園山土筆、有田美由樹</p> <p>【内　　容】 島根定住財団の「インターンシップ」に応募した学生を受入れる。</p>	
①		

事業概要 ②	<p>令和3年11月になって、島根大学国際センター及び東洋大学留学生就職支援センターからの依頼で、東洋大学の留学生、中国2名、香港1名、ベトナム1名の計4名の学生をインターンシップで受け入れることになり、Zoom会議で実施した。</p> <p><b>【実施日程】</b> 令和4年2月1日（火）オリエンテーション 11時～12時 2日（水）3日（木）4日（金）10時～12時 10日（木）最終発表と交流会 10時～12時</p> <p><b>【実施回数】</b> 4人×5回 <b>【講 師】</b> 園山土筆</p> <p><b>【内 容】</b> ①島根の現状と当館の現状を認識して弱みと強みを見つける。 ②若者に対して劇場と国際演劇祭をどのように広報すればよいかを留学生の立場から提案し、パワーポイントで発表する。</p>
事業成果 ②	<p>当館の強みは、「多様性に富む」「国際的な拡がりの可能性が高い」等を大切にしながら、「SNS発信はあたりまえの時代」を認識して、「子ども」と「外国人」に重きを置いた広報を心掛けることが提案された。中国からの留学生は、島根との関係性を深くしたい、という希望であったので、令和4年度の5月に、実際にシアターに来て、劇場スタッフと交流して、「強み」と「弱み」について整理し、新たな提案をすることになった。また、観光とのつながりや、大学生をまとめて関係人口をつくりたいとの希望も語っていた。</p>

## 人材養成事業4

### 「未来学校」が5回目にして大きな成果を上げた

子どもたちの「想像力」や「発想力」を如何に自然な形で引き出すかに腐心してきた「未来学校」だったが、今回参加した子どもたちは、自ら考え、提案し、他の子どもたちと協調して、工夫を重ね、失敗したらやり直し、そして、わずか3日間で劇を創り上げた。その結果、子どもたち自身も充分満足し、保護者も日に日に成長していくわが子に目を見張り、コロナ感染対策に追われた劇場スタッフも過去にないほどの充実感を味わった。

これほどの成果を上げた原因は、子どもたちの自主性を最優先にして実施したことに尽きる。劇場スタッフも大いに学び、今後の「未来学校」の運営主眼を見つけることができた。

事業名	しいの実シアター未来学校 一劇で遊ぼう！— 
参加者数	目標 のべ60人 → 実績 のべ96人
趣 旨	<p>1日中開窓する等の充分な感染対策を行なって実施した。</p> <p>育てたい力は3つ。</p> <p>①アイデアを出し、考え、試行錯誤しながら実現する力 ②仲間と力を合わせて、一つの作品を創る力 ③自ら発信し、表現する力</p>
事業概要	<p><b>【実施日時】</b> 令和3年8月4日（水）5日（木）6日（金） 9時半～16時（12時～13時はかやぶきで昼食）</p> <p><b>【実施会場】</b> しいの実シアター かやぶき交流館</p> <p><b>【定 員】</b> 小学生・中学生20名程度</p>

	<p>【実施会場】 しいの実シアター かやぶき交流館</p> <p>【定 員】 小学生・中学生 20名程度</p> <p>【参 加 費】 1人につき 4,000円</p> <p>【講 師】 田中小百合（子ども劇づくり講師） 有田美由樹</p> <p>【内 容】 1日目 仲良くなるゲーム、シアター探検、絵本読み聞かせ グループジェスチャー、役割分担 2日目 仲良くなるゲーム、衣装づくり、道具づくり、劇の練習 3日目 仲良くなるゲーム、リハーサル、発表会</p>
事業成果	<p>5回目の今回は、「劇で遊ぼう」と呼びかけ、3日間のメニューもわかりやすく表示した。結果、コロナ禍で思う存分活動することができなかった子どもたちにとって、2人の講師の温かく適切な対応と準備周到なメニューと、50代から70代の子ども対応に慣れたスタッフの温かいサポートと見守りとによって、過去にないほど子どもにも保護者にも喜ばれ、充実した「未来学校」となった。</p> <p>今回の事業において最大の収穫は、「新しい視点」を発見したことである。演劇には、PlayとDramaとTheaterがあるが、Playという視点が大変重要であることに思いを新たにした。昔の子どもが日暮れまで外遊びに興じたように、また、今の子どもたちが野球やサッカーに夢中になるように、「劇」によるPlayを楽しむという「経験値」を増やせば、いつしか「演劇」の価値も理解してもらえるのではないか、ということを認識した。</p>

## 人材養成事業5

事 業 名	演劇祭アートマネジメント研修	
入場者数	目標 のべ20名 ➔ 実績 のべ78名	
趣 旨	<演劇による人づくり・まちづくり>をテーマとして、平成11年から3年毎に国際演劇祭を開催し、市民ボランティアは、毎回、研修の度にスタッフワークを向上させている。しかし、演劇祭開始から20年もの年月が流れた今日、組織体制や接客方法を今の時代に合った形に変化させる必要がある。	
事業概要	<p>【実施日程】 令和3年5月10日（月）～令和4年2月14日（月） 合計12回</p> <p>【対 象】 演劇祭フェスティバルクルー、シアタースタッフほか</p>	
事業成果	今年度のワークは、県外客が演劇祭に何を期待しているのか、その気持ちを満足させ、「また来たい」「他の人に紹介したい」と来場者の思い出に残るスタッフワークを考えた。受講対象者はリーダー等を任される人材のため、自ら実行するだけでなく、新人ボランティアクルーにも指導できるように進めた。	

**貸館**

年 月 日	利 用 者
8月21日、22日	岡山県高陽中学校吹奏楽部
11月 7日	クタハウス 香りと呼吸法
11月10日、R4年 1月14日	八雲町地域振興活動団体交流会役員会
4月28日 5月13日、10月27日 R4年 3月18日	NPO法人あしぶえ 会議

**職員研修**

		実施月日	実施場所	受講数	回数
研修	第1回演劇公演の鑑賞サポートを考える	R3/8/12	しいの実オフィス (オンライン)	1名	1回
研修	ステージテクニカルアカデミー2021 島根県舞台芸術セミナー	R3/12/6.7	島根県民会館	2名	2回
研修	政策研究大学院大学 国際シンポジウム 「劇場の未来を考える—新たな視点—」zoom会議	R3/12/8	しいの実シアター (オンライン)	2名	1回
研修	ふるさと島根定住財団 「NPOのための実践型ファンドレイジングセミナー」	R3/11/24 R3/12/15 R4/1/19 R4/3/9	しいの実オフィス (オンライン)	1名	4回

**所属団体関係**

		実施月日	実施場所	受講数	回数
総 会	令和3年度島根県公立文化施設協議会 定期総会	R3/7/30	県民会館 第2多目的ホール	1名	1回

**施設管理**

事業名	春秋の草刈り事業
参加者数	目標 のべ30人 ➔ 実績 のべ16人
趣旨	市民ボランティアを募って、当館職員、専属劇団員と共に、敷地内の草刈りを、春秋1回ずつ実施する。以下の効果を目指す。 ①指定管理経費の削減に努める。 ②職員と作業することで、シアターに対する市民の好感度・愛着度を高める。 ③整備された劇場環境をつくることで、一般来館者の好感度を高めていく。

事業概要	<p>【実施日程】 令和3年5月8日（土） 8人 10月10日（日） 8人</p> <p>【実施会場】 しいの実シアター敷地内（2600坪）</p> <p>【参加者】 当館職員、専属劇団員、市民ボランティア</p>
事業成果	コロナ禍で人数は少なかったが、効率的な作業を進めることができた。 秋は、メンバーの高齢化と天候により、思うように進まなかつた。

## 1. 床下浸水の水抜き

7月の豪雨により、オフィス棟の裏の崖から水が吹き出し、建物床下が浸水した。

西側の基礎壁に直径4.5センチの穴を開けて水抜きをし、乾燥に務めた。



オフィス棟裏の法面から水が噴き出し、  
オフィス棟床下が浸水



## 2. シアターの音響機材の交換

中期計画の修繕項目で、平成28年からの交換希望が実現し、音響卓、アンプ、スピーカーを交換し、良好な音響環境となった。



### 3. シアターの道路勾配 2か所の修理

シアターへの進入路（市道）2か所の勾配は、建設時からの不具合として中期計画の修繕項目であった。3月に2か所共に改良されて車両走行が安全に行なわれるようになった。



### 4. その他の修繕等

7月と8月の豪雨によりシアター駐車場の法面が崩落し、年度末に応急的処置を行った。



## <令和3年度事業報告> ⑤かやぶき交流館の管理・運営事業

令和2年度より新型コロナウイルスの感染が拡大し、夏季及び冬季の全館を使用したイベントの貸館がキャンセルとなった。少人数グループの貸館は増えた為、貸館件数は前年比60.7%増の45件となったが、利用者数は前年比37.4%増の1860名で大幅増とはならなかった。また、今年度、写真撮影会の貸館件数が多くなった。これは写真愛好者間のSNSで拡散され撮影場所、会場として広く認識されたようだ。

### <貸館>

事業名	主催者居住地	利用者数
美・change	松江市上乃木	64名
グループホーム本郷	松江市本郷町	のべ43名
まんまるマーケット	松江市上乃木	のべ260名
その他 40件		336名
合計		のべ703名



貸館イベントの様子

### <物販>

内 容	日程と利用者数
地域の加工食品・製品等の販売	通年 74名

### <施設管理>

1. 非常警報設備内臓バッテリー交換 4月 8日（木）
2. 净化槽ブロアーベルト交換 11月 19日（金）
3. 上水道メーター交換 12月 2日（木）

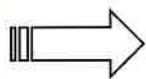
#### 4. アプローチ路面改修工事

3月 8日（火）～3月 25日（金）

駐車場から交流館に入るためのアプローチ部分の路面がいたみ、子どもや高齢者、また、車椅子利用者などが利用するにはいつも不安が生じていたが、今年度、ようやく改修の運びとなり、きれいに舗装された。これにより、交流館に荷物を運び入れるトラック等の大きな車両もスムーズに進入することができ、市民サービスに繋がった。



改修前



改修後



「第7回松江・森の演劇祭」は、2020年開催を2年延期して2022年に開催することとなり、令和3年度は開催前年度業務を行った

### 1. 開催日程： 令和4年11月3日（木・祝）～11月14日（月）

演劇祭は11月13日（日）までだが、翌日は政策研究大学院大学文化政策部の主催により国際シンポジウムをしいの実シアターで開催することになった。

### 2. 上演会場： 松江・森の演劇ゾーン

しいの実シアター：一般的な国内外演劇公演 平原会館：人形劇公演

平原農村公園：仮設大型テントによるパフォーマンス性の高い公演

かやぶき交流館：クラフト展

かやぶき交流館駐車場の仮設テント：演劇祭マルシェ

### 3. 4カ国10団体が確定

クレドシアター（ブルガリア）、コーパス（カナダ）

ポリーナ・ボリソヴァ（フランス）、ガベジ（日本）、むすび座（日本）

ドロップ（日本）、人形劇団プーク（日本）、びりとブッキー（日本）、

ティキィパークゥ（日本）、劇団あしぶえ（日本）

### 4. 団体観劇による学校公演の予算化が実現

会期中の平日には松江市内の学校からしいの実シアターへ海外秀作舞台の観劇に来てもらうよう教育委員会に提案し、送迎バス、観劇料の予算化が実現した。

### 5. ボランティアスタッフと課題解決のための会を開催

前回のボランティアリーダー、サブリーダーと面接し、2022年開催に向けて課題解決の機会を設けた。その結果に基づいて、運営組織案を新たに作成、役割を確認した。

### 6. 広報全般を広告代理店と連携

初めて、広告代理店と連携して、広報活動全般を見直すことにした。

そして、「誰に」「何を」「どのように」伝えるか、など時間をかけて話し合った。

ポスターほか広報物のデザインの統一性などを検討中である。